

【 夏休み前の全校集会(放送集会での校長の話) 】

前期前半が終わります。長い夏休みが始まります。この節目に当たって、話をします。

去年は、10日前後の短い夏休みでした。この先、3週間も学校に通ったのですが、それが遠い昔のようです。今年もやむなく臨時休校になった学校は、夏休みの始まりが遅くなっています。

近隣の高等学校も終業式は、8月6日ぐらいと聞いています。

皆さんは、この長い夏休みを充実した夏休みにしてください。

まずは、これまでを振り返ってみると今年もいろいろな制限がある前期前半でした。

しかし、皆さんの努力と心がけにより、感染対策ができ、休校することなく、授業を進めることができました。去年の休校を考えると、学校というのは皆さんが集まって、授業・学習すること、活動することに、そもそも意味があります。平凡な日常でもそこで、いろいろと仲間と話し合ったり、考えたり、行動することがなによりも大切です。その中身を充実させるには、一人一人の取組に係っています。

そのような時間をしっかりと確保するために、2学期制・前期後期制を、篠崎中学校校区、小学校と合わせて実施しています。日々の授業や活動で前進するそれがこの学校の特徴だと思ってください。

そうは言うものの、3年生の関西修学旅行は、市内全体が、春から秋に延期、そして、中止になってしました。今は、9月には1泊2日での近隣での修学旅行が編成できるよう旅行代理店の方と相談をしています。1年生のふれあい合宿も市内全体が中止になりました。ふれあい活動としての何らかの活動や校外学習が2年生も外部の人を招いた活動や校外学習などが、今、先生方で検討されています。実施できることを願いたいと思います。

ただ、これからの世界は、これまでとは大きく変化します。変化の激しい時代になります。「今までどおり」に、疑問をもって、その中を生き抜いていく必要があります。

知識は、スマホやタブレットに問いかけたら、いくつかの答えが返ってきます。それも日々更新され、あっという間に古い知識が変わっていきます。その中からよりよい資料や答えを選ぶのは自分になります。自分の考える力や判断力がより求められます。自分自身の価値感を磨くことが大切になります。

学習の中身も、知識だけに偏らず、思考力・判断力・表現力、そして、主体的に学ぶ態度といった社会を生き抜く、資質や能力を学校でつけるように変化しています。

そこで、2学期制に合わせて定期考査も回数は減りました。しかし、単元末テストやミニテストといったものや課題提出が多くなってきたのではないのでしょうか。日々の学習の取り組み方や覚えるから理解することへ変化してきています。

また、点数以上に、その答案の出来栄えや内容がどうであったかが重要になっています。苦手な単元があるのか。そこで自分の学習の取組はどうであったのか。自分は努力したので成果に結びついたのか。何が足りなくて成果が出なかったのか。

そこで、分からないことが出てきたときには、是非、教科の先生や学年の先生に相談に行ってください。自分の課題や修正方法を相談に行ってください。夏休みでも遠慮せずに、どんどん質問してもらっていいと思います。

そのような理解の程度を図るものとして、学校のテストはあります。ですので、目安としての度数分布は示します。順位のみにとらわれないでください。順位に表れにくい能力を秘めた人もたくさんいます。点数や順位だけでその人の可能性を決めることはできません。

上位を目指して努力することも大事です。これからは、豊富な知識量や記憶力を基に、しっかり深く考える力や表現する力が大切になります。時には、答えがなく、その場にある選択肢の中で、正解ではなくても、最善のものに近づこうとすることが精いっぱい課題もあるかもしれません。

話は変わりますが、この6月から7月にかけて、デジタルシチズンシップということについて考えました。

議論の中身を各学年、少し、聞かせてもらいましたが、3年生はより幅広い考え方や社会を広く見ることができていたようです。そもそもインターネットや AI が進化しつつある中で、何がデジタルなのかを考えることもおかしなことかもしれません。デジタルでない社会を考えたときに今の姿が見えてくるのかもしれませんが。200年くらい前までは、日本は鎖国し、手紙は、何日かかけて、人の足や馬の力を借りて運んでいました。

江戸の終わりの頃から明治にかけて、海外から電信がもたらされて以来の時代の変化とデジタルの関わりを考えるとすごい進化があると思われます。

今は、瞬時に世界の人と国境も時差もなく、つながります。自動翻訳機なども出て、言語壁も越えます。画面の向こう映る人が、現実のその人の姿を現しているかもわからない現実です。

だからこそ、一人一人が考えることや自分本位でなく、多くの人の考えを知り適切に判断することが大切なのです。皆さんはそのような世界を、これから生きていくことになります。夏休みを迎えるにあって、タブレットの持ち帰りをします。時折、アンケートや課題が配られることがあります。日常的に、パスワードを自分のものとして管理し、ログインして確認する。そしてログオフして終了する。そのような基本的なことを行ってください。

学校は、オンライン生徒総会やオンライン授業のテストなどを行っているにもかかわらず、この夏休み前の全校集会もなぜか放送です。次からは、室内であるなら、オンラインでの全校集会となると思います。

また、いろいろな学年の学習で SDG's が取り上げられました。17の目標があるなど、学んだことがあると思います。大切なこととして、「環境」「経済」「人」のバランスを考えて、**持続可能な社会を作っていく、今、していることが、本当に正しいか。みんなが幸せになれるか。そして、だれ一人取り残さない。**といったことが大切になります。

自分のことから、自分の身の回りの人に、周りの社会に、そして、世界に目を向けて様々な地球人としての課題を考えてみてください。

今年の夏は、大きなイベントがあります。平和の祭典と言われるオリンピックです。賛否や世界の人々がどの様に捉えているか注目しましょう。これまでのオリンピックは、平和の祭典と言いながらも、決して、そうでない歴史も多く刻まれています。日本でも過去にオリンピックを中止した歴史があります。選手の活躍だけでなく。その背景や周辺にある世界の動きにもぜひ注目してほしいと思います。

そのような皆さんのために、市立図書館の図書貸し出しカードを新規に発行してもらいました。長い夏休み、大きな図書館で自分の読みたい本を探して、借りてみたり、デジタル図書館で本を借りてみて、視野の幅を広げてほしいと願っています。

最後に、健康安全に気をつけて、自分の命と自分自身を大切にする夏休みにしてください。

終わります。